

全国ことばを育む会第 28 回全国大会長野大会

令和元年 8 月 10 日（土）・11 日（日）ホクト文化ホール

大会一日目レセプション 12:20～12:50



難聴のピアニスト 小林淳一さんが奏でる

真夏のひとときミニコンサート



曲目

ベートーベン/エリーゼのために

ドビュッシー/「ベルガマスク組曲」より

第3曲《月の光》

リスト/「パガニーニによる大練習曲集」より

第3曲《ラ・カンパネラ》



プロフィール/小林淳一

千曲市出身、10年間の東京生活を経て昨年より熊本市在住。

先天性感音性難聴(2級)、聴力 100 デシベル以上のため、1歳より日常・演奏時では両耳に補聴器を装着している。手話も使用できるが、基本的には口話法に頼る。「彼の内耳の中の振動を感じ取る機能が正常者以上に極めて優れており、彼の指先と足先には“類い稀な耳”があるのだ。いや、彼自身が外界の音に煩わされることのない《類い稀な耳》となって、内なる音楽を深めてきたのであろう。」

(東京都 赤坂虎の門クリニック耳鼻咽喉科・熊川孝三医師)

2013年ウィーンで開催された第3回国際障がい者ピアノフェスティバルにて、聴覚障がい部門の金賞を受賞。